

「稲城市医療計画」あるべき医療提供体制の実現に向けた取組状況について（令和4年度）

I. 高度急性期・急性期入院の機能分化連携初期救急の充実

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	令和4年度 具体的に目標とする取組等	令和4年度 結果(進捗状況)
<p>●入院（高度急性期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市外の高度急性期病棟の機能を活かした連携体制の推進</li> <li>市内の医療体制を踏まえ、現状を維持</li> </ul> <p>●入院（急性期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内急性期病棟を中心に、疾病に応じた必要な体制の整備、市外の医療機関との連携</li> <li>市の疾病に応じた必要な病床の確保、及び必要病床数を踏まえた機能の充実</li> <li>市内の医療機関と稲城市消防(救急救命士等)と更なる連携強化</li> </ul> <p>●通院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民の適切な受療行動の実現、市内のかかりつけ医の広がり</li> <li>休日夜間の機能分担による通院の繁忙の抑制、在宅医療供給の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲城市の地域特性を踏まえ、市外の高度急性期医療機関への搬送体制の連携及び維持</li> <li>市の疾病に応じた必要な医療の提供、及び病床の確保、また、回復期病床を有する医療機関等との連携強化</li> <li>初期医療、2次医療及び3次医療の役割分担の中で、かかりつけ医を持つことを推進</li> <li>病院機能に応じた搬送体制の連携及び維持</li> <li>#7119の市民への啓発普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期病院として適切な医療提供に努める。</li> <li>地域医療連携の拡充のため、令和4年4月より担当部署が医事課地域連携係であったものを部に組織改正し、地域医療支援センター地域支援室として、看護師長及び医療ソーシャルワーカーも追加で配置する。救急車・地域のクリニックからの患者の受け入れはもちろん、介護の相談もできる体制を整える。</li> <li>母子保健及び健康増進事業実施時に、適正受診に関するチラシを配布する等、啓発を実施する。</li> <li>地域医療の現状を把握するため、医師会との情報交換を引き続き実施する。</li> <li>病院機能に応じた搬送体制の連携及び維持、#7119の市民への啓発普及について稲城市消防本部と情報交換する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ第7波、8波の影響もありながら、急性期病院として適切な医療提供に努めた。</li> <li>地域医療連携の拡充のため、令和4年4月より担当部署を地域医療支援センター地域支援室として強化し、看護師長及び医療ソーシャルワーカーを増員した。</li> <li>※救急車「受入数/要請数=応需率」⇒全て増加 令和3年度 1468/2812=52.2% 令和4年度 2243/3930=57.1% (うち稲城救急) 令和3年度 1068/1710=62.5% 令和4年度 1399/1945=71.9%</li> <li>適正受診に関するリーフレットを3歳児健診時に配布した。</li> <li>医師会との情報交換を図り、地域医療の状況把握に努めた。</li> <li>稲城市消防本部において、#7119について、市ホームページ、広報いなぎ、市公式Twitterへ掲載しているほか、救命講習において周知を図っている。</li> </ul>

II. 回復期病床の確保・充実

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	令和4年度 具体的に目標とする取組等	令和4年度 結果(進捗状況)
<p>●入院（回復期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回復期から市内在宅へ連携強化のための市内回復期の充実</li> <li>必要病床数を踏まえた回復期病床への転換、増床の実現</li> </ul> <p>●入院（慢性期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療の不足による慢性期入院の防止</li> <li>円滑な在宅移行体制の実現</li> <li>回復期病床への機能転換の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療を担う市内の医療機関の後方支援の推進</li> <li>市内病院の回復期病床への転換に向けての本計画内容の共有</li> <li>療養病床を有する有床診療所の開設支援等</li> <li>ACPの普及、啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市外を含め、市民に在宅医療を提供する主要な医療機関や医師等を紹介するパンフレット作成に向けた情報収集</li> <li>ACPIに関する勉強会等の開催</li> <li>市内病院と情報共有を図る。</li> <li>稲城市医療計画を市ホームページ等に掲載し、市内に必要な病床の周知を図り、開設希望があった際には、支援に努める。</li> <li>ACPIに関する講演会を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市外を含め、市民に在宅医療を提供する主要な医療機関や医師等を紹介するパンフレット「稲城市民のための訪問診療医ガイド」を9月に作成し、配布した。</li> <li>12月4日に開催した市民向けシンポジウム「医師に自宅に来てもらうという選択肢」で在宅医療やACPの実際を紹介した。</li> <li>2月19日に開催した専門職向けの「在宅医療・介護連携を推進するための多職種連携研修会」で看取り期の連携の方法や目的を学んだ。</li> <li>稲城市在宅医療介護連携推進協議会にて、情報共有を図った。</li> <li>稲城市HPに稲城市医療計画の進行状況をHPへ掲載した。</li> <li>東京都地域医療構想調整会議等、東京都から提供される病院届け出情報等に注視した。</li> <li>ACPを普及させるための研修を5回実施した。</li> <li>(1)医療介護職向け ①「始まっている!? かくれ心不全-心不全から要介護者を守るために-」 ②「心不全高齢患者の退院時に、地域につなげたい支援」 (2)市民向け ③「元気なときから考えよう、心不全と人生会議」 ④「心不全とACP もしもの時の人生会議」 ⑤「人生会議～ACP～実践編」</li> </ul>

III. 診療科の充実(外来)

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	令和4年度 具体的に目標とする取組等	令和4年度 結果(進捗状況)
<ul style="list-style-type: none"> <li>産婦人科の充実</li> <li>整形外科の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産産科医療における機能の充実</li> <li>整形外科の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整形外科を強化し、救急受入れ及び手術にもより対応できる体制とする。(病)</li> <li>稲城市医療計画を市ホームページ等に掲載し、市内で充実が望まれる診療科を周知する。</li> <li>引き続き、まちづくり計画課と医療機関誘致も含めた街づくりの検討等について、機会を捉えて随時協議をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに整形外科部長を招聘するなど強化した結果、整形外科の手術件数は令和3年度321件から令和4年度は639件と約2倍の大幅増となった。</li> <li>稲城市医療計画を市ホームページ等に掲載し、市内で充実が望まれる診療科を周知した。</li> <li>消化器内科が若葉台地区に、内科が平尾地区に開業し、市健(検)診事業等、市の事業を受託し、地域医療に携わっている。</li> <li>令和4年5月、小田良地区の開発事業者からクリニック誘致の構想に係る相談を受け、医療計画に基づき市の現状と地域が求める診療科を説明した。</li> </ul>

IV. 在宅医療の充実

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	令和4年度 具体的に目標とする取組等	令和4年度 結果(進捗状況)
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅療養後方支援の機能強化</li> <li>在宅医療に関する市民への普及啓発</li> <li>市内・市外の在宅医による在宅医療の実現</li> <li>在宅医療における機能分化・連携体制の実現</li> <li>訪問看護事業所の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲城市在宅医療・介護連携推進協議会の開催</li> <li>稲城市在宅医療介護連携マップの更新</li> <li>いなぎ在宅医療・介護相談室による相談対応</li> <li>在宅医療を紹介するパンフレットの作成を通じた連携の推進</li> <li>多職種連携研修、専門職研修の実施</li> <li>市民向け講演会やシンポジウムの実施</li> <li>市在宅医療支援病床確保事業の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いなぎ在宅医療・介護相談室による相談内容を分析し、在宅医療の後方支援策や機能分化・連携体制の実現に向けた課題を抽出する。</li> <li>在宅医療を紹介するパンフレットの作成を通じ、連携を推進する。</li> <li>多職種連携研修、専門職研修や市民向け講演会を開催し、市民への普及啓発を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いなぎ在宅医療・介護相談室による相談内容を分析し、協議会で議論した。</li> <li>市外を含め、市民に在宅医療を提供する主要な医療機関や医師等を紹介するパンフレット「稲城市民のための訪問診療医ガイド」を9月に作成し、配布した。</li> <li>2月19日に開催した専門職向けの「在宅医療・介護連携を推進するための多職種連携研修会」で4つの場面ごとの目的や目標を整理した。</li> </ul>

V. 認知症への対応

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	令和4年度 具体的に目標とする取組等	令和4年度 結果(進捗状況)
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の予防の推進</li> <li>認知症専門医やサポート医の充実</li> <li>認知症疾患医療センターとの連携</li> <li>認知症に対する相談機能の充実</li> <li>認知症に関する関係機関の連携による本人・家族への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症支援コーディネーターによる相談支援の継続</li> <li>認知症予防教室の継続</li> <li>認知症施策連絡会の開催</li> <li>認知症初期集中支援チームによる訪問支援</li> <li>認知症疾患医療センターとの連携</li> <li>認知症ケアパスの更新と活用</li> <li>若年性認知症センターとの連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症ケアパスの改定(認知症軽度認知症の人の生活に役立つ知恵)と活用</li> <li>認知症疾患医療センターと連携した軽度認知症高齢者の受け皿作りの推進(交流の場での相談会の実施)</li> <li>若年性認知症総合支援センターと連携したイベントの開催</li> <li>認知症初期集中支援チームの活用の推進</li> <li>認定看護師になるための補助制度を新設し、認知症認定看護師を育成するため2名の看護師が学校に通学を開始する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助制度を利用して、2名の看護師が認知症認定看護師の学校を卒業した。これにより認定看護師の受験要件を満たした。</li> <li>認知症ケアパスに軽度認知症の人の生活に役立つ知恵を掲載し、3月に更新した。</li> <li>交流の場での認知症の勉強会に加えて、ふれあいセンターのコーディネーターを対象に、軽度認知症の高齢者の受入れに役立つ勉強会を開催した。</li> <li>9月に若年性認知症の普及啓発イベントを実施した。</li> </ul>

VI. 地域医療連携機能の強化

今後の課題方向性	取組み状況		
	具体的な取組施策	令和4年度 具体的に目標とする取組等	令和4年度 結果(進捗状況)
<ul style="list-style-type: none"> <li>病診連携及び在宅医療介護連携の推進</li> <li>稲城市在宅医療・介護連携支援センター(いなぎ在宅医療・介護相談室)の活用</li> <li>在宅医療の支援と市外の在宅医との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲城市在宅医療・介護連携推進協議会の開催</li> <li>稲城市在宅医療介護連携マップの更新</li> <li>いなぎ在宅医療・介護相談室による相談対応</li> <li>在宅医療を紹介するパンフレットの作成を通じた連携の推進</li> <li>多職種連携研修、専門職研修の実施</li> <li>市民向け講演会やシンポジウムの実施</li> <li>市内回復期病院から市内在宅医への連携支援</li> <li>市内急性期病院から市内回復期病院への連携支援</li> <li>療養病床へ入院している市民の退院後の在宅医療連携及び在宅介護の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関向けの勉強会を行う。</li> <li>市外急性期病院や市内回復期病院が市内在宅医と連携できるよう、在宅医療を紹介するパンフレットを作成し配布する。</li> <li>市内回復期病院が市内在宅医と連携しやすくなるよう、多職種連携研修を開催する。</li> <li>いなぎ在宅医療・介護相談室が市外急性期病院から相談された場合、市内回復期病院の活用を念頭に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関向けの勉強会である、医療連携勉強会「基礎から学ぶ摂食・嚥下障害とケア」をオンデマンド配信で開催し、49名が参加した。</li> <li>市外を含め、市民に在宅医療を提供する主要な医療機関や医師等を紹介するパンフレット「稲城市民のための訪問診療医ガイド」を9月に作成し、配布した。</li> <li>2月19日に開催した専門職向けの「在宅医療・介護連携を推進するための多職種連携研修会」に市内回復期病院や市内在宅医が参加した。</li> <li>いなぎ在宅医療・介護相談室が市外急性期病院から相談された場合、市内回復期病院の活用を念頭に対応した。</li> </ul>